

新たな観光財源の検討に向けたアンケート(宿泊事業者向け) 結果概要

1.アンケート概要

①目的

第5期米沢市観光振興計画に基づき、受入環境整備や観光推進体制の強化、市民と観光客の調和等の様々な課題に取り組み実行していくための安定財源の確保に向け、入湯税の見直しや新たな観光財源の導入を検討していることから、本検討の参考として、宿泊事業者を対象にアンケート調査を実施したものの。

②実施期間

4/6(月)～4/30(木)（～6/15(月)×にて再依頼）

③回答方法

返信用封筒での返送、電子申請サービスでの回答

④配布数・回答数

配布数:80

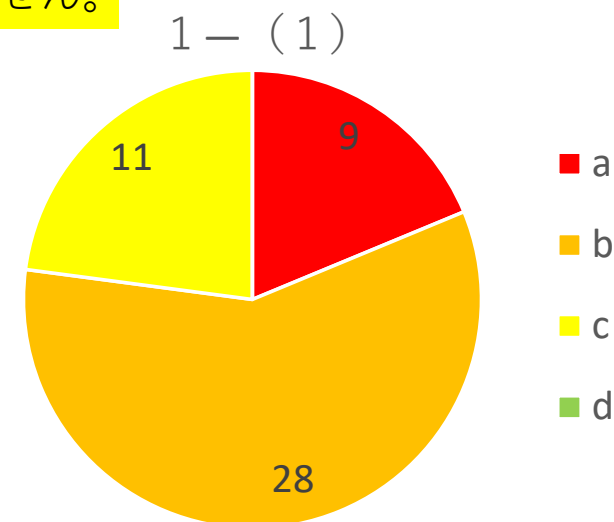
総回答数:49

2.アンケート回答結果(施設について)

※設問ごとに未回答があるため、総回答数と設問ごとの回答数が一致していません。

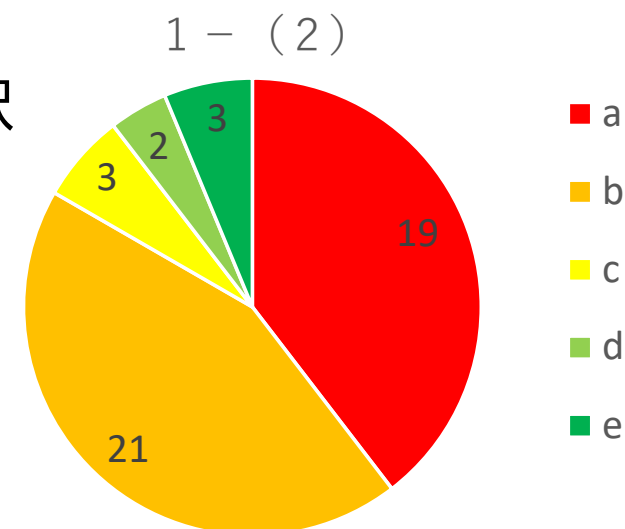
1―(1) 旅館業法に基づく営業の『種別』をお教えてください。住宅宿泊事業法に基づく住宅宿泊事業の場合は『民泊』を選択してください。

a.ホテル b.旅館 c.簡易宿舎 d.民泊



1―(2) 貴施設の規模(客室数)について当てはまるものを選択してください。

a.10室未満 b.10室以上30室未満 c.30室以上50室未満
d.50室以上100室未満 e.100室以上



2.アンケート回答結果(施設について)

1―(3) 貴施設における宿泊料金区分に該当する部屋の有無について教えてください。また、可能な範囲で宿泊料金区分毎の宿泊者数について教えてください。

※ 宿泊料金は食事代や消費税等を除くいわゆる「素泊まり料金」とし、年間もしくは月平均等把握できる範囲でご回答ください。

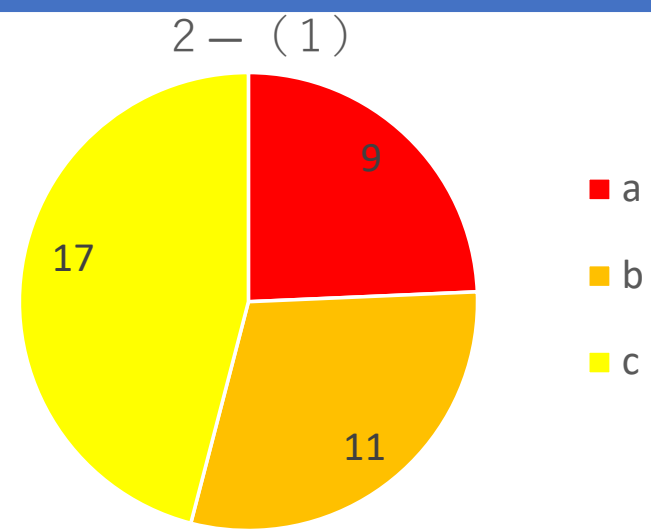
宿泊料金 (1人1泊当たり)	左記料金に該当する 部屋の有無(回答者数)	延べ宿泊者数 (令和6年1月～12月)
5,000円未満	12	12,466人
5,000円以上10,000円未満	27	55,559人
10,000円以上15,000円未満	20	13,235人
15,000円以上20,000円未満	11	9,565人
20,000円以上	7	1,510人

※未回答が多く、また回答方法が回答者により異なる場合（10,000円～20,000円が〇〇人といった回答など。）があるため、参考データになります。

2.アンケート回答結果(入湯税について)

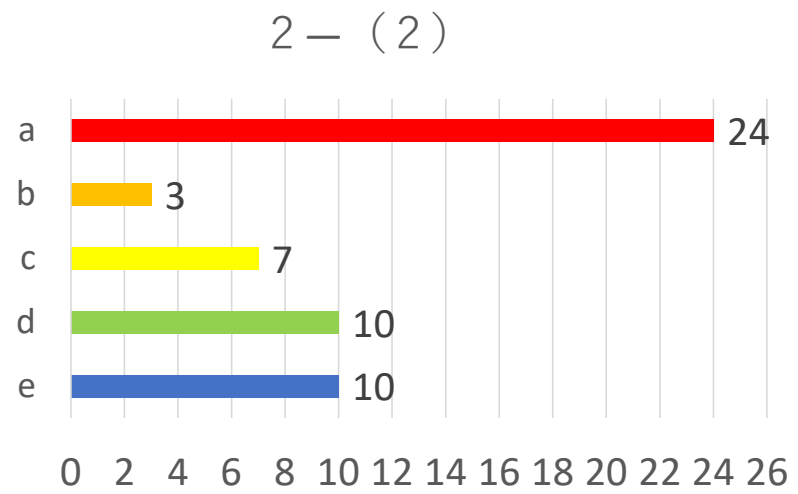
2―(1) 現在、米沢市が徴収している入湯税(1人1泊150円等)の用途について、どの程度把握されていますか。

- a:具体的によく知っている
- b:観光振興や環境整備に使われていることは知っている
- c:詳しく知らない



2―(2) 入湯税は法律で用途が定められていますが、今後さらに強化してほしい用途の項目を選択してください(複数回答可)。

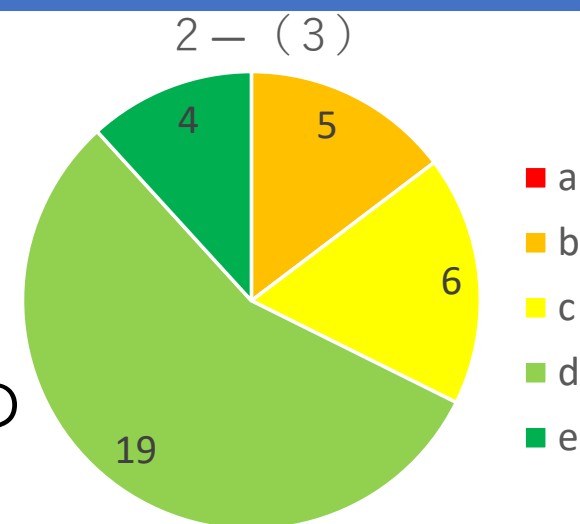
- a.温泉街の景観や鉱泉源の保護管理施設の整備
- b.公共Wi-Fiや多言語案内板などの観光客受入環境整備
- c.市街地と温泉を繋ぐ二次交通の充実
- d.共同浴場や観光トイレの改修・清掃維持
- e.閑散期のイベント開催やマーケティング活動など市全体の観光振興



2.アンケート回答結果(入湯税について)

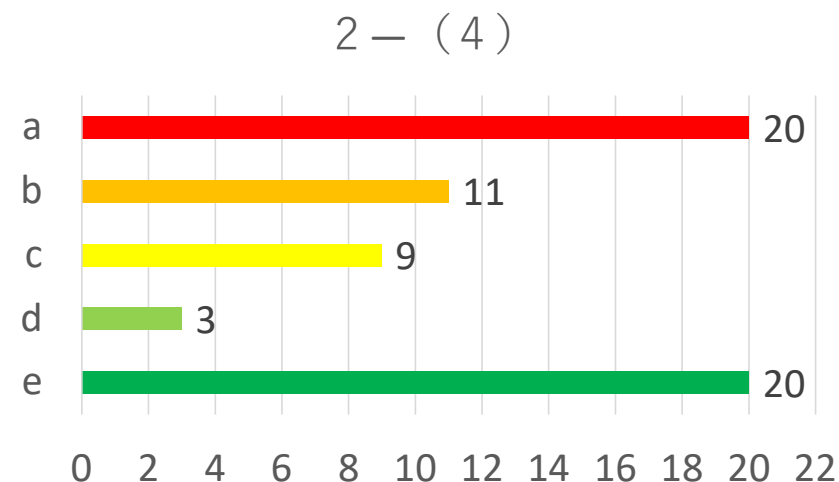
2ー(3) 貴施設における温泉供給設備(貯湯槽、配湯管、ポンプ等)の設置・更新から、概ね何年が経過していますか。

a.10年未満 b.10～20年 c.20～30年
d.30年以上 e.不明



2ー(4) 現在、施設内の温泉関連設備において、具体的にどのような課題や懸念がありますか。(複数回答可)

a.配湯管の老朽化による漏水 b.ポンプの故障リスク
c.貯湯タンクの劣化(腐食・沈殿物など)
d.温度低下(断熱材の劣化)
e.修繕・更新費用の確保が困難
f.その他

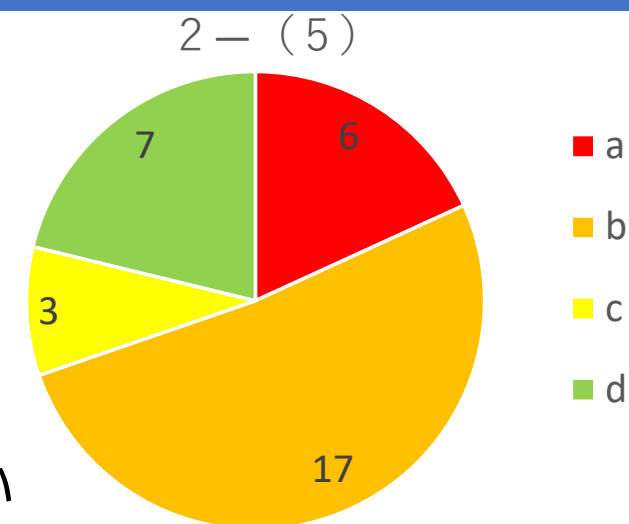


・スタッフ不足
・宿～源泉部間の自然災害等による土砂崩れ
・配湯量の不足

2.アンケート回答結果(入湯税について)

2―(5) 過去5年間で、温泉設備のトラブルによる「営業への支障(一時休業や減室など)」が発生したことはありますか。

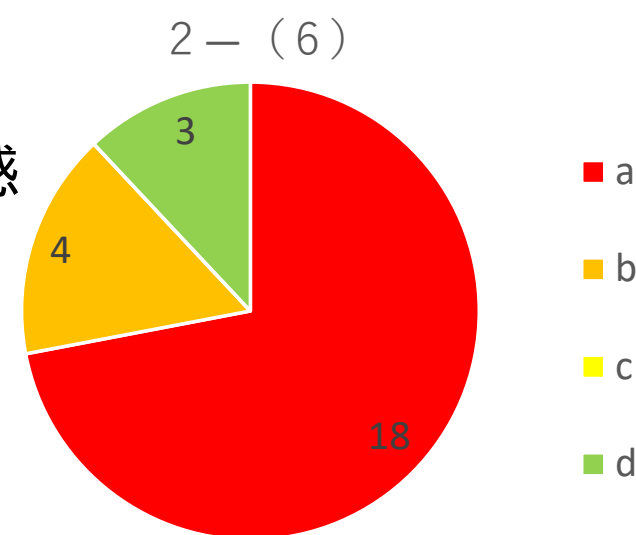
- a.頻繁にある b.数回ある
c.1回ある d.全くない



2―(6) 温泉街全体の源泉施設や共同配湯管の老朽化について、どの程度危機感をお持ちですか。(白布温泉、小野川温泉の事業者様のみお答えください)

- a.非常に高い危機感(早急な更新が必要) b.ある程度の危機感
c.あまり感じない d.分からない
(回答理由)

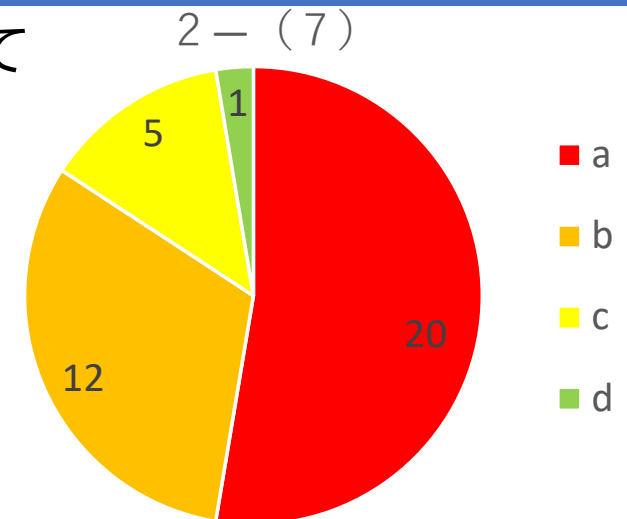
- ・源泉からの導泉施設が設置されてから50年経過しており、源泉の漏れが激しくなっている。
- ・配湯管の老朽化により営業できない日がある。



2.アンケート回答結果(入湯税について)

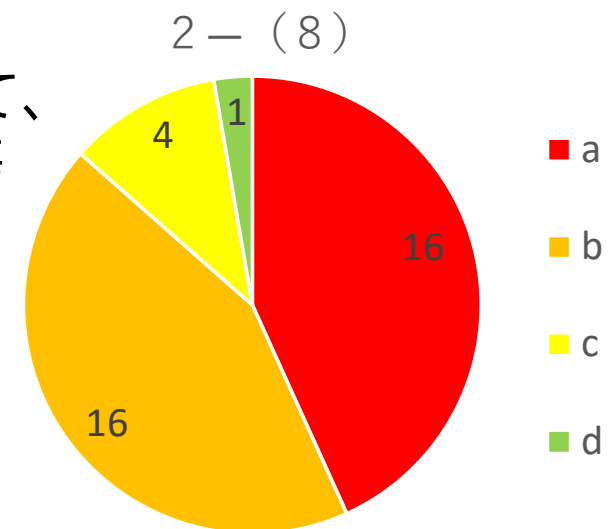
2―(7) 温泉街に点在する「空き家」や「廃屋」が、観光地としての魅力や貴施設の集客に悪影響を及ぼしていると感じますか。

- a.非常に悪影響がある b.多少悪影響がある
c.あまり影響はない d.全く影響はない



2―(8) 温泉街の景観向上のため、入湯税を財源の一部として、市と地域が連携して「廃屋の解体」や「跡地の広場化・緑地化」等を進めることについてどう考えますか。

- a.積極的に進めるべき b.条件付きで進めるべき
c.市が税金で行うべきではない d.どちらともいえない



2.アンケート回答結果(入湯税について)

2—(9) 源泉施設の維持・更新、および温泉街の景観整備を「目的」とした、入湯税の超過課税(現在の150円への上乗せ)の導入に賛成ですか。

a.賛成

- ・景観整備のためには必要

b.概ね賛成

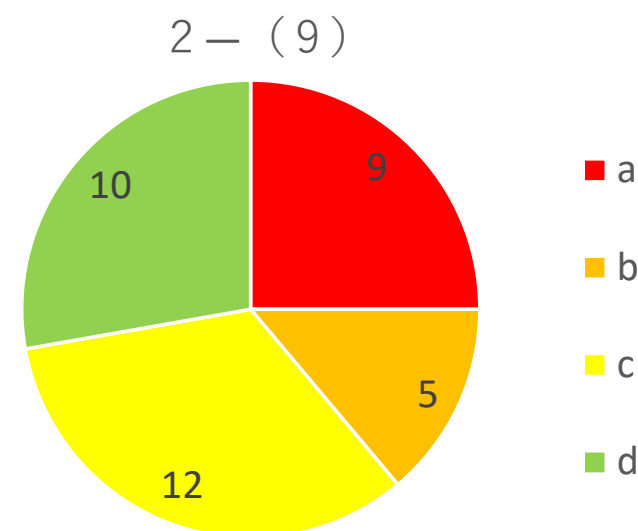
- ・超過課税を基金に積み立て、街づくりに投資する仕組みとしてほしい。
- ・源泉が守られるのであれば賛成。

c.どちらともいえない

- ・定められた使途に使われるかわからないため。
- ・引き上げ分税収をどう使い、何が改善されるか示してほしい。

d.反対

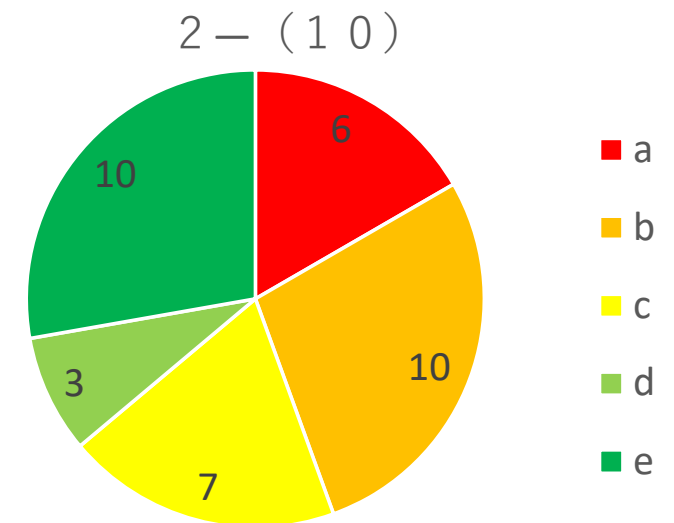
- ・宿泊客の減少につながる。
- ・入湯税の税収は現状一般財源のように扱われているため信頼できない。



2.アンケート回答結果(入湯税について)

2—(10) 仮に入湯税の超過課税を導入する場合、お客様に負担いただく上乗せ額(超過分)として、1人1泊あたりいくらまでなら許容できると思いますか。

a.50円程度 b.100円程度 c.150円程度
d.200円以上 e.導入すべきではない



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3—(1) 近年、全国的に宿泊税の導入が進んでおります。県内においても山形市が導入を決定している状況にあります。冒頭記載のとおり、本市では、受入環境の整備や観光推進体制の強化、市民と観光客の調和等の様々な課題に取り組み、実行していくための安定した財源の確保として、宿泊税の導入についても検討したいと考えています。そこで、その使いみちとして望ましいと思うものを教えてください。(複数回答可)

a.魅力ある観光コンテンツの創出(例:ライトアップ等による夜間の魅力創出など)

b.本市の持つ歴史・文化・温泉などの魅力の磨き上げ

c.観光PRや観光案内所の機能強化

d.宿泊施設等への受入環境整備に対する支援

e.老朽化した観光施設等の改修

f.歴史的建造物の保全

g.観光地等の公衆トイレの整備(例:洋式化やバリアフリー化)

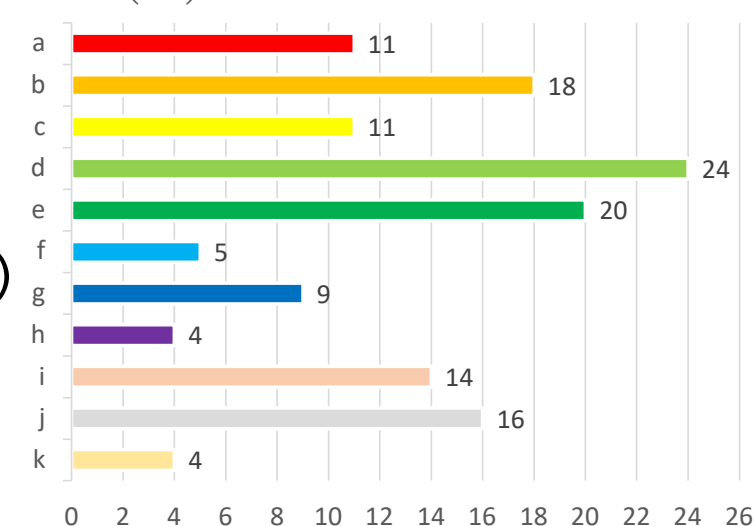
h.街なかや観光地での多言語案内の整備

i.美しい街並みや景観の整備・保持

j.閑散期における宿泊助成の導入(例:割引クーポンなど)

k.宿泊業における人材育成・確保の支援

3—(1)



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

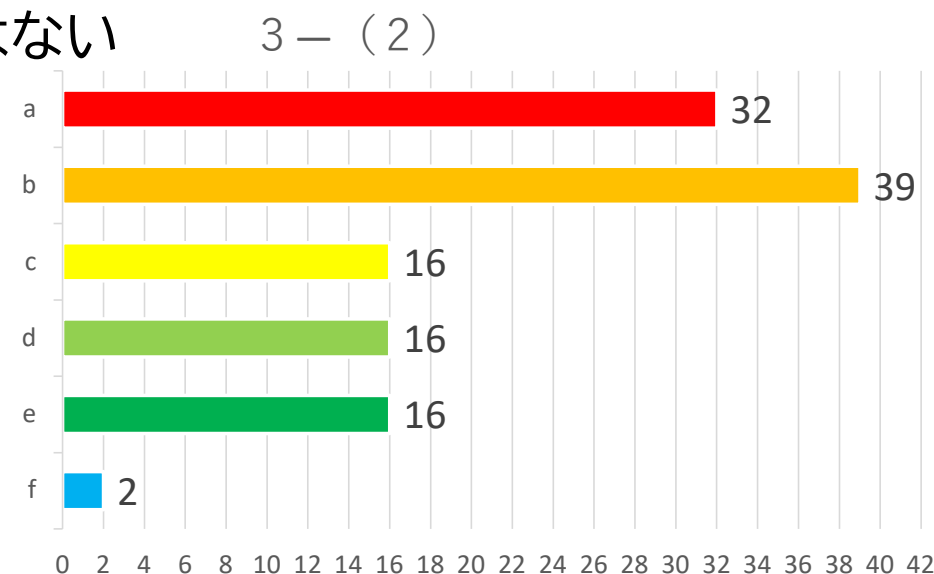
3—(1) その他ご意見

- ・観光地を結ぶ市内交通の充実や、駅を拠点とした交通の利便性に活用してほしい。
- ・遠方からの来客や外国人旅行者等のレンタカー利用も増えているため、道路インフラへの整備はこれまで通り、それ以上の整備を求める。
- ・市街地での夜の散策ができるモデルコースの造成
- ・宿泊施設は毎年設備面での補修等が必要になる。大きな施設では予算の確保ができるが、個人営業の施設では予算の確保が難しく、その面で補助をいただけるとありがたい。
- ・宿泊税を導入する前に入湯税の使用事例・用途を明確にすることが必要。
- ・目的税の導入にあたっては、使途を明確にすることが必要。
- ・宿泊税は導入すべきでない。時期尚早。

2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3－(2) 本市において、仮に宿泊税を導入した場合、下記のとおり各宿泊施設に宿泊施設に税の徴収の事務を担っていただくことが想定されます。上記から、想定される負担や支障、その他不安な点はありますか。(複数回答可)

- a. 税の徴収事務の煩雑さ
- b. 市への申告・納入手続に係る負担
- c. 宿泊者からのクレーム
- d. 宿泊者の減少に繋がりがねない
- e. システム改修に係る経費負担
- f. ほとんど影響はない
- g. その他



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3-(2) その他ご意見

- ・宿泊プランにも一泊二食、一泊三食、素泊まりの3種類ある。
- ・訪日客に課税するのはよいが、米沢市は訪日客が少ない。宿泊税を導入すると地元住民が旅行するハードルが高くなる。
- ・宿泊税の徴収が宿泊者に還元される明確な使い道が示されない限り、宿泊者も宿泊税を納得して支払うことは難しいと思う。
- ・徴収ありきで導入し、用途は不明確となる可能性がある。
- ・宿泊税が導入されることで他地域よりも旅行先として選ばれにくくなり、宿泊施設の経営に影響を与える可能性がある。
- ・クレジットカードやキャッシュレス決済の対応を考える必要がある。

2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3－(3) 宿泊料金が一定額未満(例えば5,000円未満や10,000円未満など)の宿泊客から宿泊税を徴収しないこと(課税免除)について、どのように考えますか。

a.宿泊料金によらず、全ての宿泊客から宿泊税を徴収した方がよい

・徴収有無を統一しない場合、会計の時紛らわしく、ミスにつながる。

・利用者側は公平感があると思う。

b.宿泊料金が一定額未満の宿泊客からは宿泊税を徴収しない方がよい

c.わからない／何ともいえない

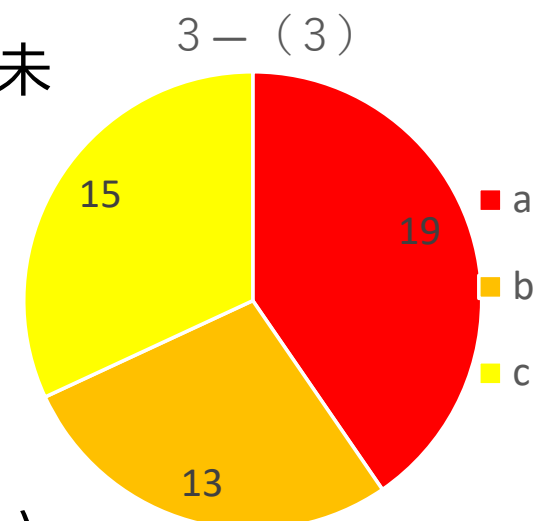
・段階的徴収が良いかと思う。

(その他意見)

・入湯税と同様に特定の利用者への課税免除の制度を設けるべき。

・入湯税との二重取りとなる施設には配慮すべき。

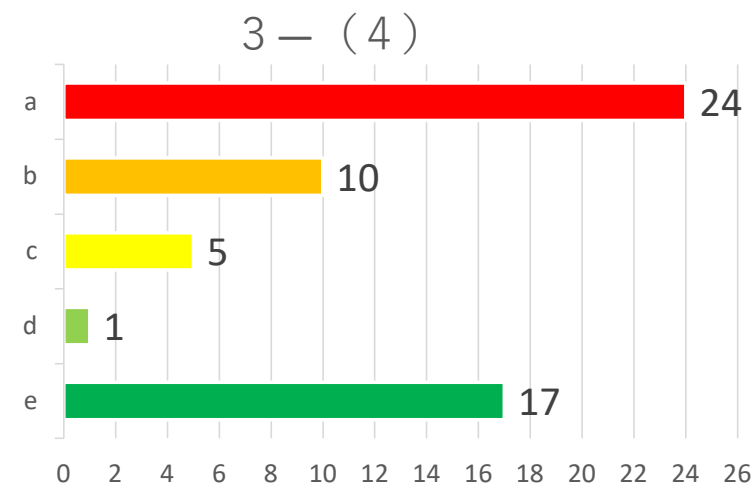
・徴収する人、しない人がいると煩雑で分かりにくく、システムで対応できるか不明。



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3—(4) 仮に宿泊税を導入する場合、徴収・納入事務を行うにあたり、必要になると考えられるシステム改修等について(複数回答可)

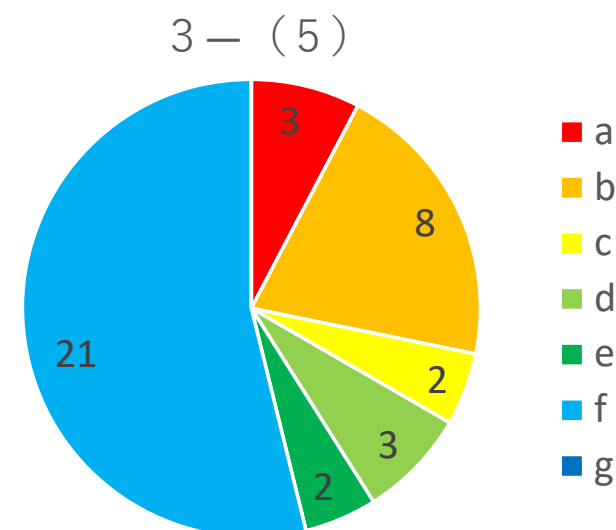
- a.既存システムの改修が必要となる
- b.新たなレジシステムの構築(導入)が必要となる
- c.ソフトウェアの購入が必要となる
- d.その他
- e.わからない/何ともいえない



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

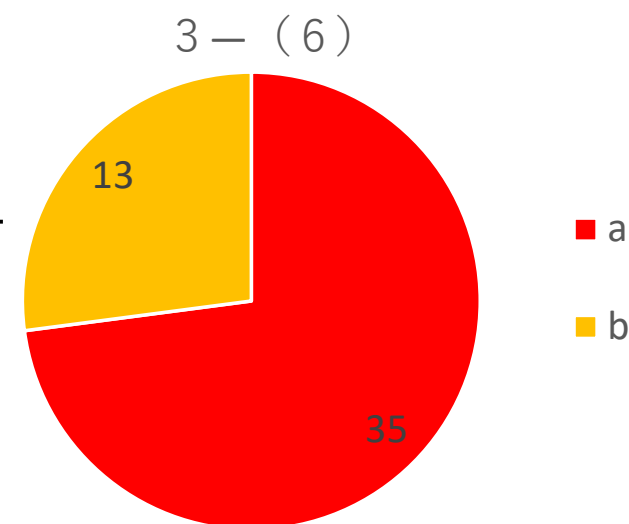
3ー(5) システム改修等に係る費用の総額(見込額)について

- a.10万円未満 b.10万円以上25万円未満
c.25万円以上50万円未満 d.50万円以上100万円未満
e.100万円以上 f.わからない/何ともいえない
g.その他



3ー(6) キャッシュレス決済について伺います。貴事業所ではキャッシュレス決済を利用していますか。(クレジットカード, 電子マネー, バーコード・QR, デビットカード等)

- a.利用している
b.利用していない



2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

3ー(7) 現在利用しているキャッシュレス決済手段とその決済手数料についてお教えてください。

キャッシュレス決済手段の種別	回答数	決済手数料
a.クレジットカード	29	2%～20%
b.電子マネー (交通系:suica等 その他: waon,nanaco,楽天edy 等)	11	1.98%～5%
c.バーコード・QR決済 (paypay、LINEpay、楽天pay 等)	16	2～6%
d.その他スマホ決済 (Applepay、Googlepay 等)	2	2～4%
e.その他(デビットカード 等)	2	2～4%

2.アンケート回答結果(新規観光財源について)

(自由記述)

- ・当市ではオーバーツーリズムは発生しておらず、インバウンド、オーバーツーリズムへの対策目的という宿泊税の導入は成り立たない。
- ・他自治体で導入しているという、いわば「取りやすいところ」からの税の導入には反対。
- ・米沢市はインバウンド需要が突出している地域ではなく、観光客は価格に対する感度が高い国内客が中心。その中で宿泊税の導入は実質的な値上げとなり、他地域との競争力低下、宿泊客の減少を招く恐れがある。
- ・税収の使途と費用対効果が明確であることが前提。税導入ありきではなく、「何の課題を解決するための税か」を明確にした上で議論や意見聴取をすべき。
- ・事業者の意見を直接聴取する説明会の開催など、双方が納得した体制で進めるべき。源泉配管の老朽化や景観、空き家対策といった課題に対し、共通のビジョンに基づいた戦略的な取組を一緒に行うことを求める。
- ・税を徴収するホテル、旅館の負担が大きい。特に旅館は既に入湯税も徴収している。
- ・宿泊業界に目的税のメリットをしっかりと示してほしい。
- ・入湯税が本来の使途に使われているのか分らない。
- ・宿泊施設は、人材不足の中、新システムへの対応や表記変更など実務負担が増える。
- ・小さな事業者にとっては金銭的・事務的負担が増えるのみで利益がない。徴収することによるメリットを示してほしい。